

漁業・水産業と食のビジネスサポーター

 ニチモウ株式会社


2023年3月期
決算短信補足説明資料

2023年5月12日



8091

東証プライム市場



ニチモウ株式会社

2023年3月期決算

2023年3月期決算：増収減益、期初計画は上回る

売上高：1,268億円
(前期比+9.8%)

過去最高に迫る売上高を計上

営業利益：28億円
(同△10.2%)

直近計画をほぼ達成、期初計画26億円は上回る

(単位：百万円)	2022年3月期	構成比 (%)	2023年3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	期初計画 (2022年5月発表)	直近計画 (2023年2月発表)
売上高	115,469	100.0	126,829	100.0	+9.8	120,000	125,000
売上総利益	11,319	9.8	11,315	8.9	△0.0	—	—
販売費及び一般管理費	8,118	7.0	8,441	6.7	+4.0	—	—
営業利益	3,201	2.8	2,874	2.3	△10.2	2,600	2,900
経常利益	3,611	3.1	3,220	2.5	△10.8	3,100	3,400
親会社株主に帰属する当期純利益	2,754	2.4	2,437	1.9	△11.5	2,200	2,400

事業別増減(前年同期比)

主要事業（食品・海洋・機械・資材）合計では二けた増収（+10.1%）

(単位：百万円)		2022年 3月期	構成比 (%)	2023年 3月期	構成比 (%)	増減
全体	売上高	115,469	100	126,829	100	+11,360
	営業利益	3,201	—	2,874	—	△326
食品	売上高	72,583	62.9	82,907	65.4	+10,323
	営業利益	2,259	50.5	2,170	51.4	△88
海洋	売上高	18,414	15.9	20,978	16.5	+2,563
	営業利益	371	8.3	617	14.5	+246
機械	売上高	12,785	11.1	11,244	8.9	△1,541
	営業利益	1,239	27.7	945	22.4	△294
資材	売上高	8,749	7.6	8,790	6.9	+40
	営業利益	456	10.2	437	10.4	△18
バイオテックス	売上高	371	0.3	312	0.2	△58
	営業利益	57	1.3	13	0.3	△44
物流	売上高	2,456	2.1	2,489	2.0	+33
	営業利益	11	0.2	△46	—	△58
その他*	売上高	108	0.1	107	0.1	△1
全社費用		△1,270	—	△1,351	—	△80

*その他売上高は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

食品事業： 増収減益 対ロシア制裁措置により各種水産物の相場が不安定

(単位：百万円)	2022年3月期	利益率 (%)	2023年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	72,583	-	82,907	-	+10,323
営業利益	2,259	3.1	2,170	2.6	△88

< 鮮凍水産物 > (42%) カニは全国旅行支援の実施などで外食など回復の兆しがあるも、米国のロシア産水産物の禁輸による世界的な相場の下落を受け、減収減益。北方凍魚および助子は、物流コストの上昇で苦戦も、ホッケ・赤魚などの原料販売が好調で人流の再開により明太子などの土産物向けの販売も回復し増収増益

< 加工食品 > (33%) 養殖銀ザケや寿司種の販売が順調に推移し増収増益

< すり身 > (25%) 南米すり身の生産は堅調で練り製品メーカーへの販売が伸長するも、下期から原料相場の断続的な下落の影響により、増収減益

海洋事業： 増収増益 コロナ禍からの回復、養殖関連は引き続き順調

(単位：百万円)	2022年3月期	利益率 (%)	2023年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	18,414	-	20,978	-	+2,563
営業利益	371	2.0	617	2.9	+246

< 養殖部門 > (47%) サケ科魚類を中心に魚価が堅調で種苗や養殖用の資材・餌料の販売が順調に推移し増収増益

< 漁網・漁具資材部門 > (45%) 北海道における秋サケの豊漁で定置網の需要が回復、官公庁向けも堅調。

また、円安の状況下において中国向けまき網用漁具資材の販売が伸長し増収増益

< 船舶・機械部門 > (8%) 船用品の販売は堅調に推移するも、船体一括案件や船舶用機器類の大型案件獲得には至らず、増収減益

機械事業： 減収減益 国内外ともに高収益の大型案件の獲得はなし

(単位：百万円)	2022年3月期	利益率 (%)	2023年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	12,785	-	11,244	-	△1,541
営業利益	1,239	9.7	945	8.4	△294

- <国内> (82%) 冷凍食品業界での新工場向け案件を獲得するなど、継続している設備投資意欲のニーズに応えるべく、きめ細かな営業活動に邁進するも昨年度の反動減で減収減益
- <海外> (18%) 入出国制限の緩和により、豆腐業界・総菜加工業界向けを中心に据付、検収は順調に進むも、エネルギー価格の高騰などによる影響と昨年度の反動減により減収減益

資材事業： 増収減益 堅調だが調達価格の高騰もあり利益は停滞

(単位：百万円)	2022年3月期	利益率 (%)	2023年3月期	利益率 (%)	増減
売上高	8,749	-	8,790	-	+40
営業利益	456	5.2	437	5.0	△18

- <化成品> (93%) 合成樹脂・包装資材ともに販売は堅調に推移、価格高騰に対しては早期の手当てに努めるも、増収減益
- <農畜資材> (7%) 肥料・資材価格の高騰があるも、ビニールハウスなどの販売が堅調に推移し増収増益


貸借対照表（要約）

- ・ 今年も水産物の相場変動に備えて在庫を多く積み増し、商品及び製品が大幅増加
- ・ 第1回新株予約権発行（2022年8月）、設備投資や金利上昇に備えて債務長期化

	資産の部			負債・純資産の部		
	(単位：百万円)	2023年3月末		前期末増減	(単位：百万円)	2023年3月末
流動資産		55,152	+ 2,134	流動負債	37,956	△ 4,708
現金預金		7,613	+ 1,460	支払手形・買掛金	12,583	△ 794
受取手形・売掛金		17,162	△ 1,371	短期債務	21,636	△ 3,019
商品及び製品		24,639	+ 2,381	契約負債	1,871	△ 442
固定資産		23,373	+ 1,582	固定負債	16,595	+ 4,463
有形固定資産		9,885	+ 610	純資産	24,095	+ 4,029
無形固定資産		772	+ 47	株主資本	20,925	+ 3,211
投資その他の資産		12,715	+ 925	その他包括利益計	3,155	+ 940
資産合計		78,647	+ 3,783	負債純資産合計	78,647	+ 3,783

- ・ 昨年に引き続き水産物の不安定な相場変動に備えて在庫を多く積み増したが
拡販を進めた結果、営業キャッシュ・フローがプラスに転じる
- ・ 第1回新株予約権付債務の行使により、11.7億円の資本増強を実施

(単位：百万円)	2021/4-2022/3	2022/4-2023/3	増減	主な要因
現金及び 現金同等物の期首残高	9,285	5,571	△3,714	
営業活動によるキャッシュフロー	△5,539	+ 912	+ 6,451	税引前当期純利益 + 3,168 売上債権の減少 + 1,924 棚卸資産の増加 △2,296 仕入債務の減少 △1,056
投資活動によるキャッシュフロー	△2,433	△1,268	+ 1,165	有形・無形固定資産への投資 △1,680
フリーキャッシュフロー	△7,973	△356	+ 7,616	
財務活動によるキャッシュフロー	+ 4,219	+ 1,618	△2,601	短期借入金の返済△1,639 新株予約権の行使 + 1,166
現金及び現金同等物の 四半期末残高	5,571	6,939	+ 1,368	



ニチモウ株式会社

2024年3月期業績見通し

1. 事業環境改善で増収増益へ

コロナ禍収束による
世界的なサービス経済活動の復調



インフレ基調による
原材料価格の高騰

期待できる要素	事業セグメント			
	食品	海洋	機械	資材
消費行動活発化	◎	◎	◎	◎
外食・インバウンド需要回復	◎	◎		
人手不足で設備投資活発化	◎		◎	◎
海外販売の拡大		◎	◎	

2. 新規事業は順調にスタート

北海道を起点とした水産物の安定供給体制

- 2023年4月オホーツクニチモウ始動（カニ・ホタテ製造）
- ヤマイチ水産の生産力強化へ設備投資本格化（今期10億円）

養殖事業（陸上＋海面）

- 陸上養殖は今夏にも初出荷
→今期中に施設拡大を検討
- 海面養殖は協業エリアを拡大

売上高：1,310億円（前期比+3.3%）、営業利益：31億円（同+7.9%）

- 売上高：①食品事業を中心に全分野で増収を想定
 ②機械事業はコロナ収束で海外案件増を見込む
 ③海洋事業は養殖事業の拡大で増収を見込む


- 営業利益：①海洋事業以外の全事業で増益を想定
 ②海洋事業は中長期を見据えて積極的な投資（研究開発費用）を実施予定

（単位：百万円）	2023年3月期	構成比 （%）	2024年3月期	構成比 （%）	前期比 （%）
売上高	126,829	100.0	131,000	100.0	+3.3
営業利益	2,874	2.3	3,100	2.4	+7.9
経常利益	3,220	2.5	3,500	2.7	+8.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,437	1.9	2,500	1.9	+2.6

主要事業（食品・海洋・機械・資材）は安定的に成長、全体では増収増益へ

(単位：百万円)		2023年 3月期実績	構成比 (%)	2024年 3月期見通し	構成比 (%)	増減
全体	売上高	126,829	100	131,000	100	+4,170
	営業利益	2,874	—	3,100	—	+225
食品	売上高	82,907	65.4	85,000	64.9	+2,092
	営業利益	2,170	51.4	2,300	51.1	+129
海洋	売上高	20,978	16.5	21,500	16.4	+513
	営業利益	617	14.5	500	11.1	△120
機械	売上高	11,244	8.9	12,500	9.5	+1,255
	営業利益	945	22.4	1,050	23.4	+104
資材	売上高	8,790	6.9	9,000	6.9	+209
	営業利益	437	10.4	500	11.1	+62
バイオテックス	売上高	312	0.2	350	0.3	+37
	営業利益	13	0.3	50	1.1	+36
物流	売上高	2,489	2.0	2,550	1.9	+60
	営業利益	△46	—	20	0.4	+66
その他*	売上高	107	0.1	100	0.1	+0
全社費用		△1,351	—	△1,400	—	△48

*その他売上高は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。



ニチモウ株式会社

資本政策・株主還元策

中期経営計画投資枠合計100億円

- ①陸上養殖の事業化
(新規事業) : 30億円
- ②バイオマス漁網の実用化
(研究開発) : 10億円
- ③水産物加工の
安定供給体制を構築
(設備投資) : 30億円
- ④M & A 資金
(既存事業強化) : 20億円
- ⑤その他
(システム費用) : 10億円

2023年3月期時点投資額

- ①陸上養殖の事業化 4.5億円
⇒一次工事完了、Phase2へ移行検討
- ②バイオマス漁網の実用化 1.0億円
⇒生分解性の海洋資材・廃棄漁網
リサイクルの研究開発他
- ③水産物加工の安定供給体制を構築
14.6億円
⇒ヤマイチ水産新食品工場の追加工事
紋別事業所の寄宿舍新設
- ⑤その他 (システム費用) 2.6億円
⇒インボイス・電帳法に対応したシステム
を改修

3/31現在調達額 11.7億円
(行使率約64%)

新株予約権発行 (2022年8月)

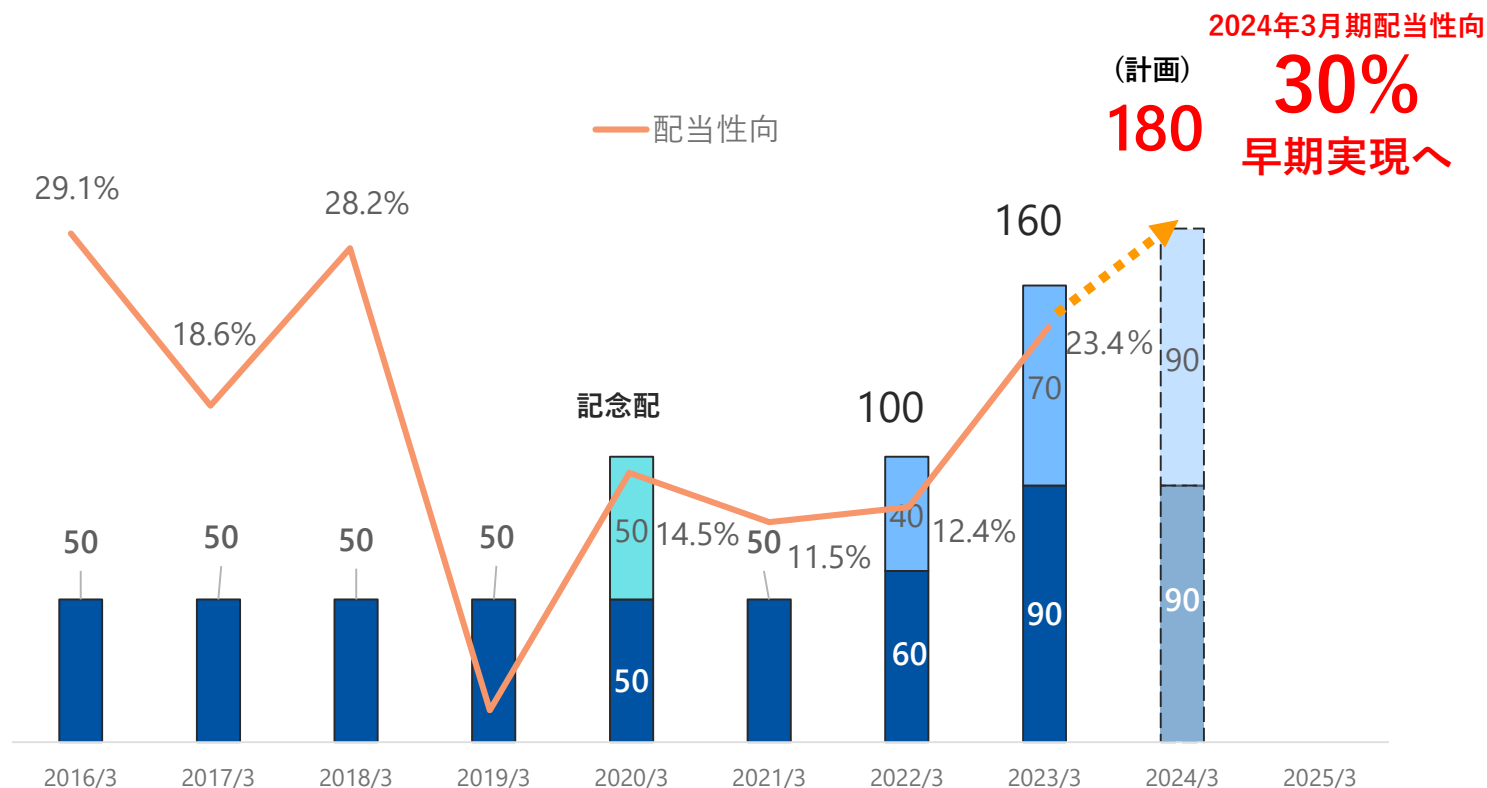
当初調達金額 約18.6億円

- ①陸上養殖建設資金 15億円
- ②バイオマス漁網実用化研究開発資金 3.6億円

- 2024年3月期は事業環境の好転もあり投資は加速させる予定
- M&Aの可能性についても引き続き検討

収益安定成長化に伴い株主還元策を積極化

- ・ 2023年3月期：業績堅調により期末配当90円に増配(前回予想+20円:年間160円)
- ・ 中計目標配当性向 30%を早期実現するため、2024年3月期配当は180円を予定
- ・ 配当性向30%達成後も持続的な成長に合わせて「累進配当政策」を維持！



* 2017年3月期以前は併合前の数字を調整 ■ 期末配当 ■ 中間配当 ■ 配当予想 (単位：円)

2023年5月22日に「2023年3月期決算説明会」の
動画配信を予定しておりますのでぜひご視聴ください。
<https://www.nichimo.co.jp/ir/library/>

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、
現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

IRに関するお問い合わせ
ニチモウ株式会社 総務部IR担当
E-mail : ir@nichimo.co.jp
TEL : 03-3458-3020

2023年5月